



よしだ たけし
吉田通心

第124号
【2025年1月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通心は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一個人通信です■■

◆墓じまいも責任を持って丁寧な対応を◆

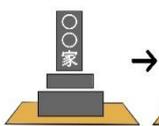
こんにちは。お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通心第124号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、12月30日に発行された地元の新聞に、能登半島7市町の墓じまいに関する記事がありました。2024年元日に発生した大地震でお墓が倒壊、その後、復旧を断念される方が多かった影響で、2024年は墓じまいやお墓の引っ越しに必要な「改葬許可申請」の数が11月末時点で例年の4倍を超えているとのこと。具体的には、直近5年の平均が7市町で約160件だったのに対し、2024年は11月までの件数を単純に足しただけでも700件になるとのこと。

今から約20年前、2004年10月の中越地震でも多くのお墓が倒壊してしまいましたが、そのときは墓じまいになりませんでした。あれから20年の間に、私は「墓じまい」という言葉を連呼するマスコミの影響も大きいと思いますが、少子高齢化の流れの中で一般の方にとって墓じまいがひとつの選択肢に加わってしまいました。

実際、2024年元日の地震に関係なく、新潟も墓じまいが増えており、とくに地元はもう離れて今は東京に住んでいる方などから、お寺様を介して墓じまいのご依頼が来るようになってきました。その時点でお客様の心は決まってしまうわけですが、ただ、お客様は墓じまいをすることについて、ご先祖様に申し訳ないというお気持ちがあることが大半です。なので、その墓じまいをするときも、お客様は、安ければいいではなく、しっかりやらえそうな業者に頼みたいというお気持ちがあることをすごく感じます。

私たち吉運堂は、墓じまいだからといって、それが作業になってしまっただけでは、お客様の心証を害することになり、また、ご紹介をいただいたお寺様の評判を落としてしまいかねません。



それだけは絶対に避けたいことですので、数ある業者の中から私たちを選んでくださったからには責任を持って、しっかりと丁寧な対応をすることを心掛けています。それでは、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただきまして、どうもありがとうございます！さて、長男と一緒に二年参りに行ってきました。そこで縁起物である熊手を今年も購入したのですが、昨年と同じ値段のものを頼んだところ、なんと、少しサイズダウンしていました。最近、お菓子など値段は変わらないけど中身が減っているステルス値上げが話題ですが、それと同じ原理でしょうか。個人的には縁起物なのでステルス値上げなんてせず、純粋に値上げしてもらいたかったです。吉田竹史

■吉田通心を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが025-372-1138までご連絡をお願いいたします。■

【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）
生年月日：昭和40年8月21日（O型）
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史